

分野	専門基礎分野		単位数	1	時間数	30
授業科目	人体の構造と機能Ⅰ		学年時期	1年次 前期		
担当講師 (実務経験)	非常勤講師（元大学解剖生理学教授）					
科目目標	人体を構成する細胞・組織、および器官（呼吸器系、循環器系、消化器系）の構造と機能を理解し、“かたち”と“はたらき”の関連について説明できるようになる。					
回数	時間	授業内容	授業方法	担当講師		
1	2	人体の構造と機能および解剖生理学を学ぶための基礎知識	講義	非常勤講師		
2	2	構造と機能から見た人体	講義	非常勤講師		
3	2	呼吸のしくみ	講義	非常勤講師		
4	2	呼吸器の構造と機能	講義	非常勤講師		
5	2	外呼吸・内呼吸・ガス交換	講義	非常勤講師		
6	2	循環器系の構成・心臓の構造	講義	非常勤講師		
7	2	心臓と血液循環、体循環と肺循環	講義	非常勤講師		
8	2	胎児循環	講義	非常勤講師		
9	1	中間試験	試験			
10	2	栄養の消化と吸収・代謝	講義	非常勤講師		
11	2	口腔・咽頭・食道の構造と機能	講義	非常勤講師		
12	2	腹部消化管の構造と機能	講義	非常勤講師		
13	2	肝臓・胆嚢・膵臓・腹膜の構造と機能	講義	非常勤講師		
14	2		講義	非常勤講師		
15	2	全体のまとめ	講義	非常勤講師		
16	1	終了試験	試験			
評価方法	筆記試験・出席状況・授業への参加態度・課題の提出で総合的に評価する					
評価基準	60点以上で合格 60点未満の場合は再試験(1回のみ)					
テキスト	系統看護学講座 専門基礎 解剖生理学 人体の構造と機能 [1] 医学書院					
参考文献	安藤雄一他監修：からだが見える第1版 メディックメディア 菱沼典子：看護につながる形態機能学 メヂカルフレンド社					
備考	人体の構造と機能は、複雑な健康問題を理解するための基礎をなすものです。看護は、健康問題に対する人間の反応を取り扱います。したがって、人体の構造と機能と人間の生活行動を関連させて理解するようにしましょう。他のきょうかの知識と結び付けて、実際に自分の体で働いている時のイメージをしながら学習すると理解が進みます。					

分野	専門基礎分野		単位数	1	時間数	30
授業科目	人体の構造と機能Ⅱ		学年時期	1年次 前期		
担当講師 (実務経験)	非常勤講師（内科医師）					
科目目標	人体を構成する細胞・組織、および器官の構造と機能（血液循環、生体防御機能、内臓機能調節、生殖機能）を理解し、“かたち”と“はたらき”の関連について説明できるようになる。					
回数	時間	授業内容	授業方法	担当講師		
1	2	内臓機能の調節① 内分泌系とホルモンの機能・調節	講義	非常勤講師		
2	2	内臓機能の調節② 内分泌腺とホルモン分泌の調節	講義	非常勤講師		
3	2	内臓機能の調節③ ホルモンの発生・老化と人体への影響	講義	非常勤講師		
4	2	体液の調節と尿の生成① 腎・泌尿器の構造と機能	講義	非常勤講師		
5	2	体液の調節と尿の生成② 体液の調節/酸塩基平衡と腎機能	講義	非常勤講師		
6	2	中間試験/血液の循環とその調整① 血液の成分と機能、血液の老化	講義・試験	非常勤講師		
7	2	血液の循環とその調整① 血液の成分と機能、血液の老化	講義	非常勤講師		
8	2	血液の循環とその調整② 血液の酸塩基平衡と呼吸	講義	非常勤講師		
9	2	血液の循環とその調整③ 止血機構、血液型と輸血他	講義	非常勤講師		
10	2	生体防御機能① リンパ系 免疫系（先天性、後天性）	講義	非常勤講師		
11	2	生体防御機能② 皮膚と粘膜の構造と機能	講義	非常勤講師		
12	2	生体防御機能③ 抗原抗体・液性免疫・細胞性免疫他	講義	非常勤講師		
13	2	生殖・発生と老化のしくみ① 男性生殖器	講義	非常勤講師		
14	2	生殖・発生と老化のしくみ② 女性生殖器、受精と胎児の発生	講義	非常勤講師		
15	2	まとめ 終了試験含む（禁煙について）	講義・試験	非常勤講師		
評価方法	筆記試験・出席状況・授業への参加態度・課題の提出で総合的に評価する					
評価基準	60点以上で合格 60点未満の場合は再試験(1回のみ)					
テキスト	系統看護学講座 専門基礎 解剖生理学 人体の構造と機能 [1] 医学書院					
参考文献	安藤雄一他監修：からだが見える 第1版 メディックメディア 菱沼典子：看護につながる形態機能学 メヂカルフレンド社					
備考	人体の構造と機能は、複雑な健康問題を理解するための基礎をなすものです。看護は、健康問題に対する人間の反応を取り扱います。したがって、人体の構造と機能と人間の生活行動を関連させて理解するようにしましょう。他のきょうかの知識と結び付けて、実際に自分の体で働いている時のイメージをしながら学習すると理解が進みます。					

分野	専門基礎分野		単位数	1	時間数	15
授業科目	人体の構造と機能Ⅲ		学年時期	1年次 前期		
担当講師 (実務経験)	非常勤講師（理学療法士）					
科目目標	人体を構成する細胞・組織、および器官（骨格系、筋系）の構造と機能を理解し、“かたち”と“はたらき”の関連について説明できるようになる。					
回数	時間	授業内容			授業方法	担当講師
1	2	骨格概論、 骨格の名称			講義	非常勤講師
2	2	骨格系 機能・名称			講義	非常勤講師
3	2	からだの支持と運動 骨の連結：関節			講義	非常勤講師
4	2	筋の収縮			講義	非常勤講師
5	2	筋総論、上肢			講義	非常勤講師
6	2	下肢			講義	非常勤講師
7	2	体幹、頭頸部			講義	非常勤講師
8	1	終了試験			試験	
評価方法	筆記試験・出席状況・授業への参加態度・課題の提出で総合的に評価する					
評価基準	60点以上で合格 60点未満の場合は再試験(1回のみ)					
テキスト	系統看護学講座 専門基礎 解剖生理学 人体の構造と機能 [1] 医学書院					
参考文献	安藤雄一他監修：からだが見える 第1版 メディックメディア 菱沼典子：看護につなげる形態機能学 メヂカルフレンド社					
備考	人体の構造と機能は、複雑な健康問題を理解するための基礎をなすものです。看護は、健康問題に対する人間の反応を取り扱います。したがって、人体の構造と機能と人間の生活行動を関連させて理解するようにしましょう。他のきょうかの知識と結び付けて、実際に自分の体で働いている時のイメージをしながら学習すると理解が進みます。					

分野	専門基礎分野		単位数	1	時間数	15
授業科目	人体の構造と機能IV		学年時期	1年次 前期		
担当講師 (実務経験)	非常勤講師（内科医師）					
科目目標	人体を構成する細胞・組織、および器官（神経系、運動系、感覚器系）の構造と機能を理解し、“かたち”と“はたらき”の関連について説明できるようになる。					
回数	時間	授業内容	授業方法	担当講師		
1	2	神経系の構造と機能 情報の受容と処理	講義	非常勤講師		
2	2	脳と脊髄	講義	非常勤講師		
3	2	脳神経と脊髄神経	講義	非常勤講師		
4	2	脳神経、脊髄神経の国家試験問題など	講義	非常勤講師		
5	2	脳の高次機能、運動機能と下行伝導路、感覚機能と上行伝導路	講義	非常勤講師		
6	2	眼の構造と視覚 耳の構造と聴覚・平衡覚 味覚と嗅覚	講義	非常勤講師		
7	2	疼痛（侵害受容性疼痛、神経障害性疼痛）	講義	非常勤講師		
8	1	終了試験	試験			
評価方法	筆記試験・出席状況・授業への参加態度・課題の提出で総合的に評価する					
評価基準	60点以上で合格 60点未満の場合は再試験(1回のみ)					
テキスト	系統看護学講座 専門基礎 解剖生理学 人体の構造と機能 [1] 医学書院					
参考文献	安藤雄一他監修：からだが見える 第1版 メディックメディア 菱沼典子：看護につながる形態機能学 メヂカルフレンド社					
備考	人体の構造と機能は、複雑な健康問題を理解するための基礎をなすものです。看護は、健康問題に対する人間の反応を取り扱います。したがって、人体の構造と機能と人間の生活行動を関連させて理解するようにしましょう。他のきょうかの知識と結び付けて、実際に自分の体で働いている時のイメージをしながら学習すると理解が進みます。					

分野	専門基礎分野		単位数	1	時間数	30
授業科目	生化学		学年時期	1年次後期		
担当講師 (実務経験)	菊池 秀彦 (大学教授)					
	[国立研究所 (農業生物資源研究所) にて遺伝子構造及び機能の解析に従事した]					
科目目標	生体内における物質代謝・エネルギー代謝・作用機序を把握し、生命現象の機能を化学的に理解できる。					
回数	時間	授業内容			授業方法	担当講師
1	2	細胞の構造と機能			講義	菊池
2	2	タンパク質の構造と機能			講義	菊池
3	2	酵素			講義	菊池
4	2	代謝概論			講義	菊池
5	2	糖質の構造と機能			講義	菊池
6	2	糖質代謝			講義	菊池
7	2	脂質の構造と機能			講義	菊池
8	2	脂質代謝			講義	菊池
9	2	タンパク質代謝			講義	菊池
10	2	核酸の構造と機能			講義	菊池
11	2	核酸代謝			講義	菊池
12	2	遺伝子の複製・修復			講義	菊池
13	2	転写、翻訳			講義	菊池
14	2	ビタミン			講義	菊池
15	2	終了試験・まとめ				
評価方法	終了試験の成績(100点満点)で評価する					
評価基準	60点以上で合格 60点未満の場合は再試験(1回のみ)					
テキスト 参考文献	系統看護学講座 専門基礎 人体の構造と機能2 生化学 医学書院					
備考						